

ITEM	PRICE
FRONT HALF SPOILER	¥39,900
SIDE STEP SPOILER	¥55,650
REAR HALF SPOILER	¥39,900
3点FULL KIT	¥124,950
ROOF GENERATOR(ROOF FIN)	¥21,000
SUS304 85φW TAIL MUFFLER ※RANDOリヤバンパー専用	¥50,400

ECOブームに乗っかって気取るより クルマはやっぱり格好良さで選びたい



クリーンかつECOで知的な印象のハイブリッド車。そんな既成概念を裏切ってくれる、とびっきりカッコ良いプリウスを紹介したい。

AERO TECH JAPAN RANDO Style 30 PRIUS BOLT ON BODY KIT

問い合わせ先 ●株式会社エアロテックジャパン
☎072-838-7744

↑30系プリウスにはバンパー交換タイプも登場。詳細な取材が間に合わず、次号で紹介したい。



↑同社のハイブリッド車用エアロ第一弾で登場した20系プリウスは、バンパー交換タイプ。



←続いて登場したのがエスティマハイブリッド用。アグレッシブな強烈な個性を主張する。

エコロジーだけじゃないプリウスのカタチを表現
世界中を探しても、プリウス以上売れているエコロジーなハイブリッドカーはない。つまり、最も先進的でエコロジーかつインテリジェンスな自動車ということになるだろう。しかし、そんな部分を気取って乗っていても格好良くはないし、何だか個性がない。
そこで、今回紹介したいのがエアロテックジャパンから登場した、30系プリウスの「BOLT ON BODY KIT」だ。先代20系プリウス、エスティマハイブリッド(2車は同社エアロブランド「乱入」ブラックエディション扱い)に続き、ハイブリッドモデルの第3弾として「RANDO Style」というブランドから登場した。
RANDO Styleとは「純正+α」一体感をテーマにした、スマートなスタイルを提案するブランド。同社が扱う5つのブランドの中では最もシンプルで、純正のスタイリングに同社のテイストを加えたものだ。とはいえず、セダン系やワゴン系のドレスアップで強烈な個性を発揮する同社のラインアップとあって、前後のハーフスポイラーとサイドステップの基本3点セットでも、十分過ぎるほどの存在感を主張する。そのワケは?というところ、30系プリウスというベース車に対するアプローチが異なるところ



↑ディフューザー形状のリヤ回りはスタイリッシュで先進的。

↑シンプルなサイドステップは、前後とのバランスを重視。

スポイラーの張り出しは最小限に抑えられ、わずかなサイズアップで存在感を生み出している。



↑ボディに無加工で取り付けられるルーフフィンの存在感はスポーティ。

ノーマル+αのアイテムで圧倒的な存在感をプラス
各エアロパーツを見ていくと、純正からのサイズアップは最小限にとどめられており、純正比で全長+25mm、高さ+10mmと、わずかながらサイズアップしているもののロードクリアランスは十分に確保されている。無論、通常走行では気にならないレベルだ。
また、スタイル以外にも注目すべき部分がある。BOLT ON BODY KITという商品名からも連想できるように、純正エアロを取り付ける要領でクルマ側の加工をしなくても装着可能。純正ピン(プラスチック製のクリップ)を再利用し、共締めと製品の裏のテープポイントに付属の両面テープで貼り付けることで完全ボルトオンを実現する。同社のFRP形成技術の高さがうかがえるつくり込みだ。

もっとプリウスを楽しむ

エアロテックジャパンでは、エアロのパーツの他にも多数のアイテムをラインアップしている。今回のエアロパーツで欠かせないアイテムが[RANDO Style] SUS304+85φW出しMUFFLERだろう。リヤハーフスポイラーに合わせ専用設計されている。



↑同社のリヤハーフスポイラーの形状に合わせてデザインされた専用マフラー。

↑ラグジュアリーな印象のサイドテーブルは、ドリンクホルダーも増設され使い勝手も良い。



↑純正ステアリングの本革張り替え(バンチングレザー)作業も扱う。※要ノーマル下取り



↑ハーフスポイラーだけでも、ここまで迫力あるスポーティな印象に生まれ変わる。

だろう。最先端のECOカーである30系プリウスをベースにするのだから、普通ならECOやハイブリッド車という部分を強く意識したスタイルを目指す。しかし同社のスタンスは、エアロテックジャパンが提案するエアロパーツのベース車として、30系プリウスを選び、同社のテイストを加えた結果できあがったのである。
クリーンで先進的なスタイリングを持つノーマルボディのシルエットを生かしつつ、ボトム部分を効果的にポリウムアップし全体の安定感をアップ。基本フォルムをワイド&ローのチューナーズ系スタイルにすることで、見違えるほどの存在感をプリウスに与えている。近日中には、イメージを一新するバンパー交換タイプのエアロも登場するというから、今から完成が待ち遠しい。

RAYS Sebring SUPERIOR ES

足元を飾るのは、レイズ社製のセヴリング・スベリアルES。本来プリウス用の設定はない。細身のツインスポークが特徴。

P.C.Dチェンジャーを使用し、P.C.D100-5Hのプリウスに、114SHのホイールをセット。